

坂東祐大 & 文月悠光 音楽と詩と声の現場2024

【出演】坂東祐大(作曲家/音楽家)・文月悠光(詩人)・多久潤一郎(フルート)・秋田勇魚(ギター)・石上真由子(ヴァイオリン)・矢部華恵(朗読)



Artwork: Taisuke Koyama "REVIVE #165"

2024年3月20日(水・祝) 17:00開演(16:30開場) グランシップ 中ホール・大地 全席指定/一般5,000円 子ども・学生1,000円 ※未就学児入場不可

※子ども・学生は28歳以下の学生
※グランシップ友の会会員特典対象事業
※「静岡県高校生アートラリー」対象事業
※公演1週間前に残席がある場合、定価より2割引となります(子ども・学生を除く)

[チケット販売・お問い合わせ]
グランシップチケットセンター TEL.054-289-9000(営業時間10:00~18:30/休館日を除く)
※グランシップホームページからは空席状況に応じて好きな席をお選びいただけます。コンビニ引取手数料無料
<https://www.granship.or.jp/>

主催:公益財団法人静岡県文化財団、静岡県 **GRANSHIP**



ドラマ「大豆田とわ子と三人の元夫」や、日本アカデミー賞最優秀音楽賞を受賞した映画「竜とそばかすの姫」から、米津玄師等のJ-POPのトップシーンのアレンジメント、2024年4月から放送されるアニメ「怪獣8号」まで、縦横無尽に活躍の場を拡げる作曲家・音楽家、坂東祐大。若くして「現代詩手帖賞」や「中原中也賞」を受賞し、近年、詩集「パラレルワールドのようなもの」(思潮社)で若者を中心に多くの人の共感を呼んでいる詩人・文月悠光。彼らが形態を変えながら追及している「声」を用いた新たな詩の表現、音楽の表現の諸相を、優れた共演者とともに、詩情豊かな街・静岡で披露する新しい試み。

【曲 目】

フルートソロのための「言い訳の方法」 | ギターと朗読のための〈新作〉 | ヴァイオリンのための〈新作〉 | 「声の現場」〜アンサンブルのための ほか



坂東祐大 Yuta Bandoh (作曲家/音楽家)

1991年生まれ。大阪府出身。刺激と知覚の可能性や脱構築などをテーマに、幅広い創作活動を行う。作品はオーケストラ、室内楽から立体音響を駆使したサウンドデザイン、シアター・パフォーマンスなど多岐に渡る。東京藝術大学附属音楽高等学校を経て、東京藝術大学作曲科を首席で卒業。同修士課程作曲専攻修了。第25回芥川作曲賞受賞(2015年)、長谷川良夫賞(2012年)、アカンサス音楽賞(2013年)受賞、第83回日本音楽コンクール入賞。作品はフランス国立放送フィルハーモニー管弦楽団、ロンドンシンフォニエッタ、東京フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー管弦楽団、いずみシンフォニエッタ大阪、東京現音計画、LAPS Ensemble などによって国内外で多数演奏されている。代表作に、「花火・ピアノとオーケストラのための協奏曲(2017,サントリー芸術財団委嘱作品)」、「SONAR-FIELD (2019, Ensemble FOVE, Shibaurahouse)」、「TRANCE (2018, 京都芸術センターでの共同製作)」、「ドレミのうた」、「声の現場」(テキスト:文月悠光, OPEN SITE 6 TOKAS 推奨プログラム)。2022年1月には初の作品集となる「TRANCE/花火」がDENONレーベルよりリリースされる。また3月と10月には初となる作曲の個展「耳と、目と、毒を使って」(京都芸術センター、および浜離宮朝日ホール)が開催された。2016年、Ensemble FOVE を創立。代表として気鋭のメンバーと共にジャンルの枠を拡張する、様々な新しいアートプロジェクトを多方面に展開している。また上記のメインワークに加え、ジャンルを横断した活動も多方面に展開する。映像作品の音楽に、ドラマ『大豆田とわ子と三人の元夫』(坂元裕二 脚本)、映画『竜とそばかすの姫』(細田守監督、音楽:岩崎大整, Ludvig Forssellと共に)等。『竜とそばかすの姫』は、第44回日本アカデミー賞にて「最優秀音楽賞」、第36回日本ゴールドディスク大賞「サウンドトラック・アルバム・オブ・ザ・イヤー」を受賞した。米津玄師との共同編曲、宇多田ヒカルの編曲及び指揮、嵐「カイト」オーケストラアレンジメント等。作曲を故・野田暉行、安良岡章夫、野平一郎、ピアノを中井正子 各氏に師事。
https://www.yutabandoh.com/

文月悠光 Yumi Fuzuki (詩人)

1991年北海道生まれ。詩人、武蔵野大学客員准教授。16歳で現代詩手帖賞を受賞。高校3年のときに発表した第1詩集『適切な世界の適切なならざる私』(ちくま文庫)で、中原中也賞、丸山豊記念現代詩賞を最年少18歳で受賞。そのほかの詩集に『屋根よりも深く』(思潮社)、『わたしたちの猫』(ナナロク社)。エッセイ集に『洗礼ダイアリー』(ポプラ社)、『臆病な詩人、街へ出る。』(新潮文庫)がある。高校の国語教科書『高等学校 新編現代の国語』(第一学習社)に『臆病な詩人、街へ出る。』の一部が教材として掲載中。2023年、6年ぶりの新詩集『パラレルワールドのようなもの』(思潮社)で富田碎花賞を受賞。詩の朗読、詩の展示、現代音楽作品に参加するなど多方面で活動中。札幌文化芸術交流センターSCARTS、ログロード代官山での詩の展示、小川珈琲「コーヒーの詩」(朗読:夏木マリ)、「ミヨシ石鱈」の詩の連載、朗読(雑誌「婦人友」)広告欄に掲載など幅広く活動中。2021年、作曲家・坂東祐大と初のサウンドインスタレーション作品「声の現場」を発表した(TOKAS本郷での展示、京都芸術センター・浜離宮朝日ホールでの公演版がある)。2013年より「しずおか連詩の会」に3度参加。県内の小学校で連詩ワークショップを行うなど静岡との縁も深い。



多久潤一朗 Jun-ichiro Taku (フルート)

東京藝術大学在学時より現代音楽を中心に活動を始め、国内外の作曲家の新作初演を多数手がける。ソリストとしてもこれまでに新日本フィルハーモニー管弦楽団をはじめ数々のオーケストラと協奏曲を共演した。また自身がリーダーを務める次世代型フルートトリオ「マグナムトリオ」はイギリスやカナダ、ロシア、韓国他様々な国の音楽祭からオファーを受け招待公演を行なっている。TV、CM、映画音楽などのレコーディングは年間100本を超え、アニメ「鬼滅の刃」や米津玄師「パプリカ」、Nintendo Switch「スーパーマリオ」「ゼルダの伝説」などのフルート及び和笛、民族笛などを担当している。



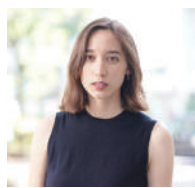
秋田勇魚 Isana Akita (ギター)

慶應義塾大学卒業。パリ地方音楽院で研鑽を積む。「旬のギタリストを聴く〜Hakujuギター・フェスタ2019」、「ヤマハホール10周年記念Acoustic Guitar Festival Special Concert」に出演。デビューアルバム「AQUARELLE」を日本コロムビアよりリリースし、レコード芸術の特選盤に選定される。『L'atelier ISANA』と題したクラシック・ギターの音楽表現の可能性を追求するコンサートシリーズ、コミュニケーションアプリで配信中の「Morning Routine Music」やYouTube「旅ギター」が好評を博している。



石上真由子 Mayuko Ishigami (ヴァイオリン)

日本音楽コンクール等、国内外で受賞多数。題名のない音楽会、NHKクラシック音楽館等メディア出演多数。東響、東京都響、読響、日本フィル、京響、仙台フィル、大響、大阪フィル、関西フィル、ブラジロ国立響など、内外で多数のオーケストラと共演。長岡京室内アンサンブル、アンサンブル九条山メンバー。Ensemble Amoibe主宰。Music Dialogue, CHANEL 室内楽、おんかつアーティスト。京都市芸術新人賞、音楽クリティック・クラブ賞、大阪文化祭賞、青山音楽賞、藤堂音楽賞受賞。日本コロムビア、ALTUSよりCD好評発売中。



矢部華恵 Hanae Yabe (エッセイスト/ナレーター/ラジオパーソナリティ)

1991年アメリカ生まれ。東京藝術大学音楽学部楽理科卒業。6歳から日本に住み、10歳よりモデル活動を開始。12歳で『小学生日記』を刊行以来、本を多数出版。テレビ番組のレポーターとして「世界遺産〜一万年の叙事詩〜」(NHK)全シリーズ、「世界ふしぎ発見!」(TBS)などに出演。TVナレーションで「地球タクシー」「Zero Waste Life」(NHK)他、CMナレーションでは「LUX BATH GLOW」を担当してきた。現在「山小屋ストーリーズ」(InterFM)のパーソナリティをつとめる。



交通アクセス

- ・JR東静岡駅南口隣接
- ・静岡鉄道長沼駅から徒歩10分
- ・東海道新幹線(ひかり)で東京・名古屋から1時間、新大阪から2時間。JR東静岡駅乗換、東静岡駅まで3分。
- ・車では東名高速道路静岡I.C.から20分、日本平久能山スマートI.C.から10分、新東名高速道路新静岡I.C.から15分、静岡バイパス千代田I.C.から10分



託児案内

- ・ボランティアスタッフによる託児サービス(無料、2歳以上の未就学児に限る)をご利用の方は、公演2週間前までにご連絡ください。定員になり次第、締め切らせていただきます。



- ・車椅子でご来場の方は、公演前日までにご連絡ください。

【託児サービス及び車椅子での来場のお問い合わせ】(公財)静岡県文化財団 文化事業課 TEL.054-203-5714



〒422-8019 静岡市駿河区東静岡二丁目3番1号
 グランシップ指定管理者:公益財団法人静岡県文化財団
<http://www.granship.or.jp/>

